



加茂でがんばる素敵な商売人 (AKINDO) をご紹介します!



今回の AKINDO
重泉工作所
代表 重泉重夫 さん(右)
伸夫 さん(左)

親子二代でモノづくりに取り組む重泉工作所の重泉重夫さんと伸夫さんにお話しを伺いました。

創業32年を迎えられたそうですね。

重夫さん・うちの工場は様々な金属の部品加工を行っています。作業から出荷まで、ずっと私が一人で行っていましたが10年位前に自分の年齢や、この先のことを考えて、工場をたたむ決心をしたことがあったんです。当時30歳代前半だった息子にそのことを伝えたら「工場を無くすのはもったいない」と言ってくれて…。今は、息子が後を継ぐ準備をしながら手伝ってくれています。

伸夫さんは、お勤めを辞めて工場に入る道を選んだんですね。

伸夫さん・工場をたたむと告げられた時、父が苦労して守ってきたこの工場を「後継ぎがない」という理由だけで無くすのはもったいないと強く思いました。自分の工場を持つのは父の夢でしたからね。火花を散らしながら作業する父の姿を見て、私も「モノづくり」の道へ進むことを決めました。お世話になっている取引先も沢山ありましたし、当時の職場を思い切って退職しました。

以前はどんなお仕事をされていたのですか？

発案でステンレスにレーザー彫刻を施した記念プレートを作っています。お子様の手形や足形、ご家族やペットの写真などを刻み込んだ世界に一つの「メモリアルプレート」です。お客様に喜んでいただける「モノづくり」をしたいと原点に立ち返った時に生まれた商品のひとつです。

ありがとうございます。

重泉工作所

住所：加茂市希望ヶ丘2912-2
TEL：0256-53-5790
営業：8時半～17時
定休日：毎週土曜・日曜・祝日
HP：<https://shigezumi-mw.jp/>



伸夫さん・私は高校卒業後IT関連の学校に進学して、コンピューター関係の専門学校講師やITに携わる仕事に就いていました。なので、製造業は全くの畑違いで、素人同然でした。

息子さんが工場に入ってくれて良かったことはどんなことですか？

重夫さん・息子が入ってくれたお陰で仕事の受注が随分と増えました。単純にこなせる数量が増えたわけじゃなくて、息子のプログラミングの技術で今までより多様な加工に対応できるようになって、受注の幅がぐんと広がったんです。

それは大きな強みですね

伸夫さん・少し専門的な話になりますが、金属の加工に使う「マシニングセンタ（NC）」はコンピューター制御装置の指令で、自動的に刃物の交換や、切削や研削などの機械加工が行われ、様々な形状を削り出す工作機械です。複数の動作をプログラミングすることで、より多くの形の加工が可能になります。この作業には専門的な知識が必要です。幸い私は前職でその分野を学んでいましたので、専門のプログラマーを利用することなく、自分でそれができるんです。

「メモリアルプレート」も伸夫さんのアイデアですか？

伸夫さん・はい、私の